（別紙 1）
平成 27 年 9 月 17 日
情報システム委員会

Java の脆弱性をついたウィルス感染による不正ログイン未遂について

【被害にあった PC 利用環境】※感染当時
OS…Windows7　Professional
セキュリティソフト…Microsoft Security Essentials および avast（フリーソフト）

【経緯等】
■平成 27 年 3 月＞　ウィルス感染
　他会会員が、Java7 の脆弱性から「Zeus」という自動でパスワードを抜き出すウィルスに感染。
■平成 27 年 3 月＞　不正送金未遂発生
　ウィルス感染した PC ではネットバンキングも利用していたため、ネットバンキング用 ID・パスワードが盗まれ、銀行ホームページでの不正ログインにより決裁直前まで実行されたが、金融機関の指摘により連絡対応ができ、最悪の事態が回避された。
■平成 27 年 4 月＞　事情聴取・現場検証
　愛知県警察サイバーセキュリティー課により追跡捜査中

【Zeus】※ウィルスについて
■警戒レベル＞　低
　ウィルスそのものの脅威は高いわけではないが、今回のように脆弱性があると感染する。
■症状＞　スパイウェア
　ネットバンキングの作業を監視し、ID・パスワードを他の PC へ送信する。
■感染後＞　自動消滅
　「ある一定のフォルダ」（【解説】参照）を残して、ID・パスワードを盗み取ったら自動で消滅する。

【解　説】※「ある一定のフォルダ」について
　感染した PC の中に「ある一定のフォルダ」を残すが、そのフォルダが残されている場所は以下のとおりなので、参考にされたい。
■OS が Windows7 の場合（Windows8 も共通）
　「コンピュータ」→「C ドライブ」→「ユーザー」→「(各自) マイコンピュータ」→「AppData」→「Roaming」→フォルダ名が不規則な 4 つの英小文字のものがあれば要注意！

【問題点】eLTax 導入時に Java は必須
　現在では、Java のバージョンも更新され最新版での対応となっているが、被害発生時で Java7 については 270 万ユーザーが登録されていたため他府県での被害も報告されている（「サイバーセキュリティー課」による情報）。今回はネットバンキングの情報が盗まれたが、今後、マイナンバー制度の実施により、マイナンバー情報の蓄積が予想される税理士事務所が標的にされる可能性もある。

Java の脆弱性をついたウィルス感染による不正ログイン未遂のケースです。被害を防ぐため基本的対応として、お手元の PC については、OS 類、Java のアップデートを行い、セキュリティソフトを導入、常に最新状態にして備えることとして下さい。その旨、所属会員へ周知するよう宜しくお願いいたします。

東京税理士会情報システム委員会